

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
統計数理研究所・理数系教員指導力向上研修会(広島)
「高校数学・新課程研修会 2013 冬」

新学習指導要領では、理数教育の推進が大きく謳われ、その柱の一つに問題解決型の統計教育の必修化が盛り込まれています。この研修会では、データが知識を生む時代の人材育成に対して、必修化された新課程数学科「データの分析」および新課程情報科「問題解決」の単元指導が果たす役割や目的と意義、育成したい力、具体的な授業方法や評価の考え方、教科横断的連携指導の可能性を講演者と参加者で考えていきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時：平成25年2月10日（日）10：00～16：30

会場：広島市留学生会館2階ホール

<http://www.i-house-hiroshima.jp/map.html>

対象：高校教育関係者・学生

参加費：無料

プログラム

○ 開会挨拶・・・大学共同利用機関法人・情報・システム機構 統計数理研究所副所長 田村 義保

(1) 新学習指導要領における概要と要点

文部科学省初等中等教育局視学官 長尾篤志

(2) 問題解決のプロセスを意識した統計教育の必要性

慶應義塾大学大学院健康マネジメント学科教授 渡辺美智子

(3) 文部科学省・総務省後援：生徒参加型データ活用授業支援サイト

センサス@スクールを活用した「データの分析」指導

愛知教育大学準教授 青山和裕

(4) 生徒の活動を重視した「データの分析」の授業実践

広島大学附属中・高等学校 数学科教諭 橋本三嗣

(5) 総務省統計局：高校生が学ぶ統計学習サイト「How to 統計」の活用

総務省統計局情報システム課 原田直伸

(6) シミュレーション器材（パッティング機）を用いたデータの分析授業実践報告：

データの適切な採取から回帰分析と2群比較まで

兵庫県立加古川北高等学校 数学科教諭 林宏樹

(7) 測ってまなぶ，折り紙を活用したデータと品質教材

社団法人・日本品質管理学会TQE特別委員会委員

財団法人・日本科学技術連盟QCサークル上級指導士 前川 恒久

(8) 新課程下における大学受験への対応

高校数学・新課程を考える会事務局長 大淵智

主催・共催

主催：情報・システム研究機構 統計数理研究所，新課程高校数学を考える会

共催：日本統計学会統計教育委員会・統計教育分科会

問い合わせ先： 高校数学・新課程を考える会 大淵智勝 E-mail: arima33@v004.vaio.ne.jp